

## 「育つ力・はぐくむ力」をめざして

### 1. 趣旨

幼児教育指導者等を対象に、三法令改訂（定）後の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を育む保育実践と幼児期の「体験活動」の重要性について理解する。また、幼児の運動プログラムの体験会を通して、健康な心と体を育てる指導方法を身につける。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

平成31年1月11日（金）～12日（土）

#### (2) 参加者

- ①参加対象 幼稚園教諭・保育士・保育教諭・小学校教諭等
- ②参加人数 <宿泊>40名<日帰り>58名<合計>98名（応募総数106名）  
群馬県92名、埼玉県2名、栃木県2名、神奈川県1名、長野県1名

### 3. 企画運営のポイント

- ・「36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム体験会」では、興味・関心をもって、繰り返し遊べるよう、段ボールで作成した場や遊具を用いた9つの場を用意する。
- ・「段ボール作り」では、自分の職場へ持ち帰って活用できるよう、実践的な作品作りを行う。
- ・「くつろぎカフェ」では、他県や他園の先生方との親睦を深める。
- ・「シンポジウム」では、三法令改訂（定）後の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を育む保育実践と幼児期の「体験活動」の重要性について、事前質問や当日質問を取り入れながら学ぶ。

### 4. 日程

	午前	午後	夜
1月 11日 (金)		開講式	36の基本的な動きを取り入れた 幼児の運動プログラム体験会 A) みんなで遊んじゃおう！ B) 段ボールで作っちゃおう！ くつろぎカフェ
1月 12日 (土)	シンポジウム「育つ力・はぐくむ 力」をめざして 講師：先崎卓歩（文部科学省 幼 児教育課長）澤峰紀子（内閣府 子ども・子育て本部 認定こども 園担当）塩崎政江（前橋市教育長） 鈴木みゆき（国立青少年教育振興 機構理事長） 閉講式	利用相談会（オプション） ①3月卒園プログラム ②4月～6月遠足プログラム	

## 5. 主な活動内容



「ホップステップジャンプ」



「ワニの川わたり」



「段ボール作り」



「お城の前で全員集合」



「くつろぎカフェ」



「シンポジウム」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足 87名 (89%)      やや満足 11名 (11%)      やや不満 0名      不満 0名

### (2) 参加者の声

- ・すごく雰囲気の良い中で体験活動を通しての学びや、シンポジウムを通して保育の見直し等を行っていかなくてはならないと感じました。
- ・実習では、遊ぶ楽しさや体を動かすことの気持ちよさを感じました。
- ・シンポジウムでは、幼保小の連携の大切さや、遊びの中で学べることの多さを改めて知ることができました。
- ・他園の先生方との関わりや情報交換できる場があり、とても勉強になりました。
- ・園児達を連れてきてあげたいと思いました。

### (3) 成果

- ①フォーラムに参加しようと思ったきっかけが一番多かったのは、「プログラムに魅力を感じたから」であることから、プログラムの内容は良かった。
- ②「36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム体験会」では、子供達の目線になって全力で遊ぶ体験をしたからこそ、新たな気づき生まれ、実践に活かせるきっかけとなった。
- ③「シンポジウム」では、三法令改訂(定)後の話や幼保小連携の大切さ等について学ぶことができ、これからの教育保育に活かせる機会となった。

### (4) 課題

- ①平日開催等、仕事に影響のないタイムスケジュールにする。
- ②寒さ対策等、開催時期を検討する。

担当 企画指導専門職 田村 文明